



2026 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 不 二 家  
代表者名 代表取締役社長 河村 宣行  
(コード番号 2211 東証プライム)  
問合せ先 常務執行役員総務人事本部長 佐野 正樹  
(TEL. 03-5978-8100)  
当社の親会社 山崎製パン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 飯島 延浩  
(コード番号 2212 東証プライム)

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 2 月 10 日に公表しました、2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の連結業績予想値と実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

## 記

### 1. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値の差異

（単位：百万円、％）

|                                           | 売 上 高  | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属<br>する中間純利益 | 1 株当たり<br>中間純利益 |
|-------------------------------------------|--------|-------|-------|---------------------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)                           | 58,000 | 700   | 800   | 300                 | 11円64銭          |
| 実 績 値 (B)                                 | 59,410 | 297   | 458   | △74                 | △2円89銭          |
| 増 減 額 (B－A)                               | 1,410  | △402  | △341  | △374                | －               |
| 増 減 率 (％)                                 | 2.4    | △57.5 | △42.7 | －                   | －               |
| (ご参考) 前第 2 四半期実績<br>(2025 年 12 月期第 2 四半期) | 56,686 | 1,202 | 1,706 | 836                 | 32円46銭          |

### 2. 差異の理由

当第2四半期（中間期）連結累計期間の売上高は、概ね予想どおりとなりました。

一方、利益面では、飲料事業において、新設した天然水ボトリング工場の稼働に際し、「品質の確保」に万全を期すとともに、「出荷能力の拡大」に向けた体制整備を並行して進めたことから、販売額が当初計画を下回り、製造原価及び関連費用が吸収できませんでした。また、洋菓子事業においては、消費者の節約志向の高まりにより既存店客数が低迷したことから売上総利益が計画を下回りました。これらの影響により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも当初予想を下回る結果となりました。

セグメント別では、飲料事業における新工場立ち上げに伴う一時的なコスト増加が利益押し下げの主因となり、加えて洋菓子事業における既存店客数の減少が利益減少要因となりました。一方、菓子事業は概ね計画どおりに推移しております。

なお、通期の連結業績につきましては、飲料事業では6月以降、出荷量が想定を上回って推移しており、最盛期である夏場に向けた生産・供給体制も整っております。また、洋菓子事業では、お買い求めやすい価格帯商品の投入や新業態店舗の積極的な出店等の効果により、客数は6月以降回復基調にあります。さらに、菓子事業においても新しい販路への取引が決定するなど第3四半期以降は順調な売上推移を見込んでいることやチョコレート原料等の価格が落ち着くことで、予想以上の収益の改善を見込んでおります。

以上により2026年2月10日に公表いたしました2026年12月期通期連結業績予想に変更はありません。

以 上